

# ニッポン ドクター和の 臨終図巻



フォークグループ、ソルティ  
ー・シユガーの『走れコウタロ  
ー』が流行したのは1970  
年。僕が12歳のときです。それ  
までのフォークソングはどこか  
暗くて、とっつきにくい作品が  
多かった。だけどこの歌は軽快  
なテンポで歌詞も単純。遅刻し  
そうになった時、頭の中でサビ  
の「走れ〜走れ〜」を繰り返し  
ながら学校までダッシュしたも  
のです。

## 265 歌手 山本コウタロー

そのボーカルとして一躍名を  
馳せ、その後タレントや作家、  
大学教授などマルチに活躍され  
た山本コウタローさんが7月4  
日に都内の自宅で亡くなりまし  
た。享年73。死因は、脳内出血  
との発表です。

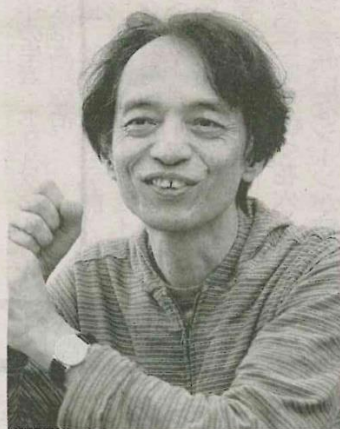
激しい頭痛や吐き気、半身の痺  
れや麻痺、呂律が回らない、また  
はものが二重に見えたり、視野が  
半分欠けるといった症状があった  
場合は、迷わず救急車を呼びまし  
よう。

長尾和宏（ながお・かずひろ） 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

# マルチな才能で平和を願った

関係者によれば、自宅で亡くなっ  
ている山本さんを4日の未明にご家  
族が発見したとのこと。ここ数年は  
体調を崩し、静養中だったそうで  
す。しかし、死の直前までメールの  
やりとりもできていたそうで、特に  
終末期という認識でもなかったよう  
です。

脳内出血は、脳梗塞、クモ膜下出  
血とともに脳卒中（脳血管障害）の  
ひとつ。脳内の細い血管が脆（も  
ろ）くなり、破れて出血した状態を



ーティストが次々と参加し10年に亘  
って続けられたとか。その後も山本  
さんらは、原爆養護ホームに行って  
ミニコンサートを続けていました。  
中国新聞の記事によれば、コンサー  
トでの山本さんの合言葉は、「平和  
がいいに決まっている！」。こんな  
時代だからこそ、よけい胸に響く言  
葉ですね…。

山本さんといえば、忘れられない  
のが、1974年に大ヒットした  
『岬めぐり』です。恋人と一緒に行  
こうと約束した「岬」。しかし  
約束は叶わず、歌の主人公はバス  
に乗って一人、岬を巡る旅に  
出るといっせつない歌詞。

昔付き合っていた彼女と、こ  
れは「失恋」の歌なのか、はた  
また「死に別れ」の歌なのかと  
歌詞を眺めて論争をしたのも、  
遠い記憶となりました。